

戸建住宅の防犯上のチェックポイント

(1) 囲障

- 周囲から見通しを妨げない形状であるか。
- 植栽が、見通しを妨げていないか。
- 周囲に足場となるものを置いていないか。

(2) 門扉

- 門扉が設置されているか。
- 門扉に施錠設備があるか。
- カメラ付きドアホンが設置されているか。

(3) 玄関ドア

- 頑丈な材質であるか。
- ピッキング等に強い錠が2つ以上取り付けてあるか。
- 補助錠が取り付けられているか。
- サムターン回し防止対策が施されているか。
- 主錠は、「防犯性能の高い建物物品」の錠であるか。
- ガードプレートが設置されているか。
- ドアチェーン、取り外しが困難なドアスコープが設置されているか。
- 明り取り用ガラスは、破られても手を差し込めない構造になっているか。

(4) 掃き出し窓

- 鍵付きクレセントが設置されているか。
- 補助錠が設置されているか。
- ガラスは「防犯性能の高い建物部品」の防犯ガラスであるか。
- 「防犯性能の高い建物部品」のシャッター等が設置されているか。

(5) その他の窓

- 鍵付きクレセントが設置されているか。
- 補助錠が設置されているか。
- ガラスは「防犯性能の高い建物部品」の防犯ガラスであるか。
- 「防犯性能の高い建物部品」の面格子が設置されているか。
- ルーバー窓には内側に面格子が設置されているか。

(6) ベランダ

- 手すり、腰壁は、周囲からの見通しを妨げない形状であるか。
- とい、手すり等を利用した侵入の防止に配慮されているか。